



<学校の教育目標>  
心豊かに たくましく 生きる子

さくら

可児市立桜ヶ丘小学校  
No. 6

令和3年8月30・31日



## 関わりやつながりに『思いをめぐらす』4か月間に！

校長 小田 一洋

今年の40日間という夏休み、東京オリンピック、現在はパラリンピックの開催、日本人の活躍でにぎわいました。また、後半は大雨での災害や変異株の感染拡大の心配といった世の中の状況でした。それぞれのご家庭でお子様たちは、どのように過ごしたでしょうか。成長できた面は自信とし、修正する面があれば改善をし、これからの生き方に活かしてほしいです。

さて、1年間の学校生活を見通したとき、本日より、学年の中身をつくるおよそ4か月が始まります。感染症対策を一番に留意徹底すると共に、桜ヶ丘小学校の子どもたちが、のびのびと知恵を出し合い、協力し合い、学校生活を充実させていけるように、職員一同、指導を進めてまいります。

### 安全な関わりやつながりを再確認するスタート ～感染症対策の徹底～

連日のニュースで、新型コロナウイルス感染症について、デルタ株への置き換わりが進み、学校再開に際して児童生徒への感染拡大が心配されています。

学校運営上、感染拡大の予測困難な状況が続いています。7月末には予定されていた8月28日PTAの環境整備活動も8月後半に入り急遽、中止となりました。また、夏休み明け早々、分散登校という学校再開について急な対応を行っていただきました。

学校においては、岐阜県や可児市の教育委員会からの指導や最新の情報をもとに、桜ヶ丘小学校としての感染症対策を進めてまいります。今までにお知らせしてある行事・活動の実施日や開催の形式を変更したり、やむを得ず中止になったりすることも考えられます。子どもたちの命に関わる「安全」を第一に考えて進めてまいります。今後も、ご理解やご協力をお願いいたします。



この夏休み、ひまわり・たんぽぽ学級のみなさんが育てたひまわりが市役所の玄関を彩りました。

### 思いをめぐらすことを大切にして「活動づくり」を行う4か月に！

「笑顔の学校」をめざし、一人一人が様々な力を付け個の伸長を図ると共に、仲間や周囲の人々に対して、また、先々のことも考え「思いをめぐらすこと」が大切であると考えています。

夏休み明けの初日が、学級の仲間が二分されてのスタートとなりましたが、学年の中身をつくるこれからの4か月は、「励まし合える仲間」や「高め合える仲間」をキーワードとして子どもたちに投げかけ、教育活動を進めていきます。

初日の朝の全校放送では、

この4か月学校生活の中、①授業の場面で、②特別な行事や活動の場面で「思いをめぐらす」ことを強く意識して生活しましょう、具体的には、友達の考えや思いを想像する、自分と違う考えや思いを知る、自分や自分たちをよりよくするためにも取り入れることがないか考えてみる、などを今まで以上に強く意識していきましょう、と子どもたちに話しました。

学習指導では、継続して対話を大切にした授業、子どもどうしの関わりのある学習活動、そして、タブレットやこの夏休み新しく設置されたプロジェクター等のICT機器を活用した学習活動を試行錯誤しながら進めてまいります。家庭へのタブレットの持ち帰り等、保護者の方にもご協力をいただくこともあるかと思えます。課題を解決しながら進めてまいります。よろしくお祈りいたします。

学校生活・学校行事等では、子どもたちで課題を見つけ、課題を解決し、現状をよりよくする「自治力の向上」につなげていきます。まずは、大きな活動づくりで「桜オリンピック」に取り組んでいく予定ですが、感染症対策と共に子どもたちの学びを第一に考え進めていきます。

尚、9/25(土)予定であった桜オリンピックは延期します。ご了承ください。(裏面にも記載あり)